

高輝度ディスプレイによる165型相当のマルチスクリーンシステムが視認性の高い映像を表示し、明るく、集中力の高まる大講義室環境を構築。

導入の経緯

●大講義室にマルチスクリーンシステムを導入。

広島市北部にキャンパスを構える安田女子大学様では、2014年4月からの新学部・学科増設にともない、新棟の建設工事を実施。それにあわせて、大講義室の映像表示装置の検討を行われ、液晶ディスプレイによるマルチスクリーンシステムを採用いただきました。

●日当たりのよい講義室で鮮やかな映像を表示する高輝度ディスプレイ。

これまで、大講義室にはプロジェクターを設置されていましたが、講義室の窓が南向きでとても明るいいため、プロジェクターを使用するたびにカーテンを閉め、部屋を暗くする必要があったことから、ディスプレイ方式を検討されました。

大講義室での受講者(230~270人)全員の視線を講師側に集中させたいという考えなどから、大型マルチスクリーンシステムを講義室前方に導入することに決定されました。

ディスプレイの選定

- 明るい室内でも鮮明に映像を表示する、800cd/m²の高輝度ディスプレイ
- 前方席の両端など、斜め方向からでもクッキリとした映像を見ることができる広い視野角
- 応答性・視認性に優れた動画再生能力
- ディスプレイ間のつなぎ目をわずか5.3mmに抑えた狭額縁デザイン
- 工場出荷時のプレキャブレションにより、設置時の画質調整を短縮

といったポイントを評価いただき、当社狭額縁ディスプレイ9台によるマルチスクリーンシステム(約165型)を2つの大講義室に採用いただきました。



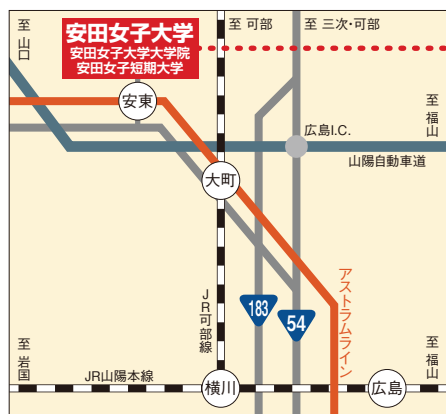
▲マルチスクリーンシステムを設置した大講義室。



▲講義室後方の席からでも視認性が高い、約165型の画面。映像を1箇所に表示するため、学生の視線が一点に定まり、講義に集中しやすい環境を構築した。

安田女子大学様のプロフィール

●所在地 広島県広島市安佐南区安東6丁目13番1号 ●URL <http://www.yasuda-u.ac.jp/>



7学部10学科に、大学院、短期大学も設置した総合女子大学。

「女性のために教育の場を」という願いから1915年に創立された安田学園は、中・高校に続き、1955年に安田女子短期大学、1966年に安田女子大学を開学。当初は文学部のみで開設でしたが、徐々に規模を拡大され、1994年には大学院を設置。現在では7学部10学科1短期大学3研究科が揃う総合大学となりました。

約100年の歴史と伝統を持つ同学園は、建学の精神「優しく剛く」の教育理念のもと、幼稚園から小・中・高校、大学・大学院まで、幼児教育から最高水準の教育までを一貫して行う、総合学園へと発展しています。

システムの紹介

●複数ディスプレイをデジチェーン接続。ペンタブレットを加え、インタラクティブなシステムを構築。

導入されたマルチスクリーンシステムは、ディスプレイ間をデジチェーン接続することで、分配器などを使用せず、映像／制御信号を伝送することができますように構築されています。

映像ソースには、BDプレーヤー、書画カメラ、タブレットPCを設置。PCにはペンタブレットを接続し、画面に書き込んで大画面に表示することができます。またペンタブレットを使用して全白画面に書き込むことで、ホワイトボードと同様に使用することもできます。

すべての映像／制御信号は、DIGITAL LINK対応のデジタルインターフェイスボックスET-YFB100に入力。DVI映像と制御の信号をCAT5eケーブル1本でディスプレイに伝送できます。

デジチェーン接続やDIGITAL LINKなどを活用することで、ケーブルや映像機器の数を大幅に減らしたマルチスクリーンシステムを構築できました。

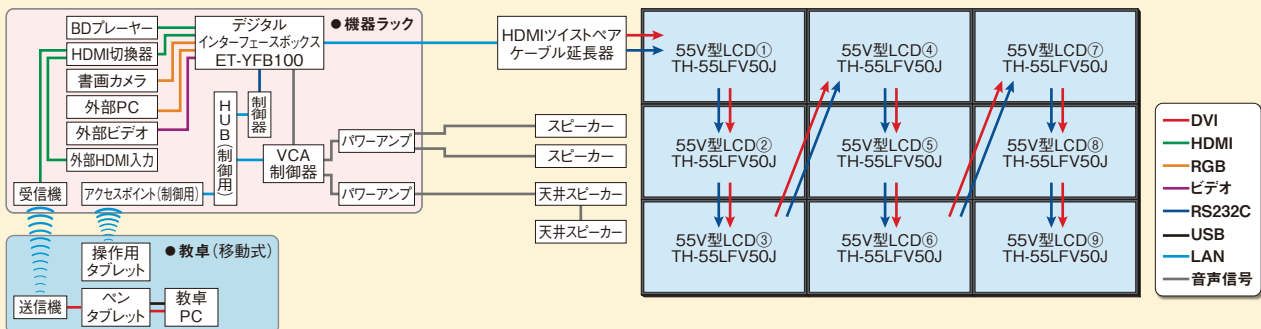


▲ディスプレイの下にホワイトボードも併設した、ハイブリッドなスタイルで運用。



◀ホワイトボードで講義を行う際には、ディスプレイを隠すこともできる。

■安田女子大学様 大講義室マルチスクリーンシステム概略図

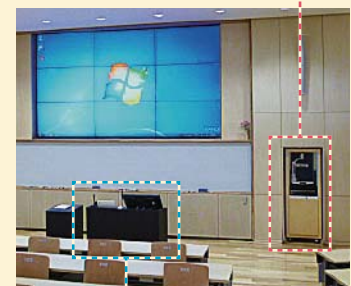


◀操作タブレットとペンタブレットは教卓に設置。システムとはワイヤレスで接続しているため、教卓ごと移動が可能。



機器ラック

◀BDプレーヤー、書画カメラなどの映像ソースは、その他の映像機器とともにラックに設置。通常は講義室前方の壁に収納され、必要な時に扉を開いて使用。メンテナンス時には、引き出すことが可能。



導入を終えて

今回、取材にご協力いただきました

安田女子大学
施設部 部長
(兼) 法人本部 施設部 部長
小川 圭司 様(写真左)

施設部 管財課 課長補佐
(兼) 法人本部 施設部 管財課 課長補佐
東田 龍二 様(写真右)



●明るい講義室で、集中して受講できる環境を整えるマルチスクリーンによる映像表示システムを高く評価。

マルチスクリーンシステム導入後は、明るい室内環境において、「画面が見にくい」という声が出たことはありません。また、常に学生の視線が前方に集まることで、講義に集中している様子とのことです。

現在は、マルチスクリーンシステムと通常のホワイトボードを併設するハイブリッドな運用になっていますが、ペンタブレットを備えることで、マルチスクリーンの画面に自由に書き込むことができるため、ディスプレイに完全移行することも考えられているとのことです。